

# 農 研 速 報

2021 年 8 月 30 日発行  
茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室  
〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974  
TEL: 0297-62-0206 FAX: 0297-64-0667

大豆の生育状況(8月25日現在、龍ヶ崎市)

地 域 名	生育ステージ		生育(作柄・品質)概況	備考
	本 年	対平成遅速		
茨 城 県 (龍ヶ崎市)	里のほほえみ 莢伸長期～ 子実肥大期	2日早い	<p>龍ヶ崎市における7月第6半旬～8月第4半旬の気象および大豆の生育概況は、下記のとおりである。</p> <p>【気象】 気 温: 平均気温は平年並に推移した(平年差-0.5℃、図1)。 降 水 量: 平年比480%とかなり多かった(図2)。特に、8月第2半旬は台風9号、台風10号が接近した。 日照時間: 平年比104%と平年並であった(図3)。</p> <p>【生育】 開花期は平年に比べ、「里のほほえみ」が7月30日と2日早く、「納豆小粒」が8月5日と3日早かった。 また、8月8日から9日に接近した台風9号、台風10号および8月14日から15日の集中豪雨の影響で「納豆小粒」が倒伏した(降水量は、8月第2半旬が81mm、第3半旬が219mm)。 8月25日調査時点の地上部生体重は、「里のほほえみ」は平年より重く、「納豆小粒」は平年よりやや軽かったが、7月調査時の平年比58%から89%まで増加した。一株莢重は両品種とも平年並であった。品種別の調査項目の平年値との比較は以下のとおり。</p> <p><b>里のほほえみ:</b> 分枝数はやや多く、主茎長はやや短く、主茎節数はやや少なく、茎の太さは平年並で、地上部生体重は重かった。一株莢数、一株莢重は平年並であった。</p> <p><b>納豆小粒:</b> 分枝数は平年並で、主茎長はやや短く、主茎節数は少なく、茎の太さは平年並で、地上部生体重はやや軽かった。また、一株莢数は多く、一株莢重は平年並であった。</p> <p>写真1に8月25日時点の所内大豆の生育状況を示した。</p> <p>【注釈】 1) 対平成遅速は開花期の本年値と平年値の差による。</p>	<p>●病害虫防除をこれまで下記の通り実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・害虫防除: 7/14、8/3、8/11</li> <li>・紫斑病防除: 未実施</li> <li>・その他病害防除: 8/3、8/18</li> </ul> <p>○紫斑病の防除適期は、開花期の20～30日後頃である。</p> <p>○「里のほほえみ」は、べと病が発病しやすい傾向があるため、防除に努める。</p> <p>○病害虫の情報や防除対策は、病害虫防除部のホームページを参照する。 (<a href="http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/">http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/</a>)</p>
	納豆小粒 開花終～ 着莢期	3日早い		

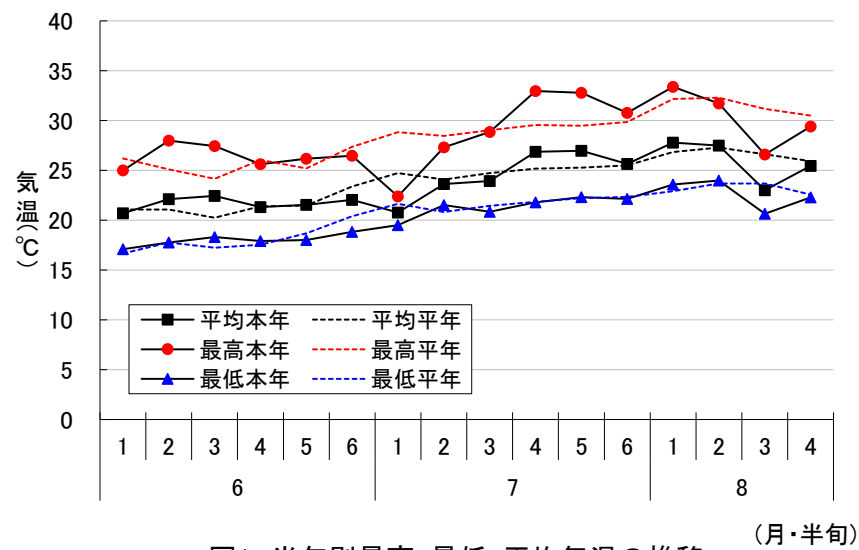


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移

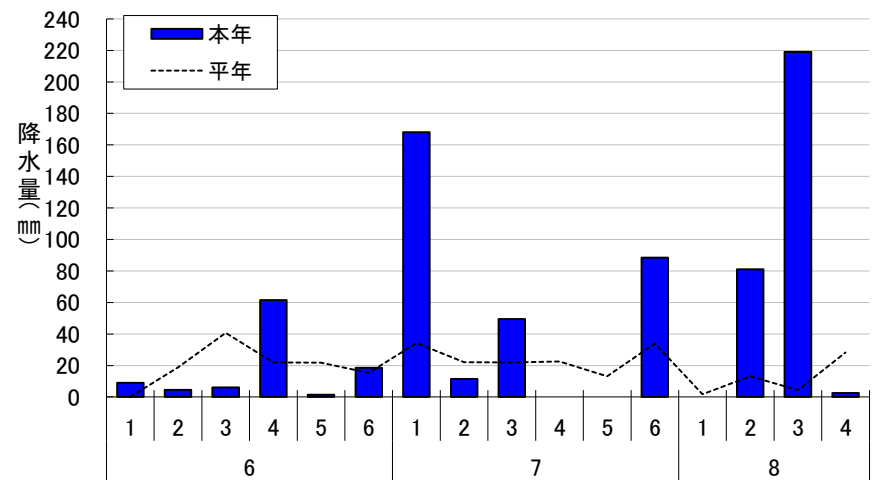


図2 半旬別降水量の推移

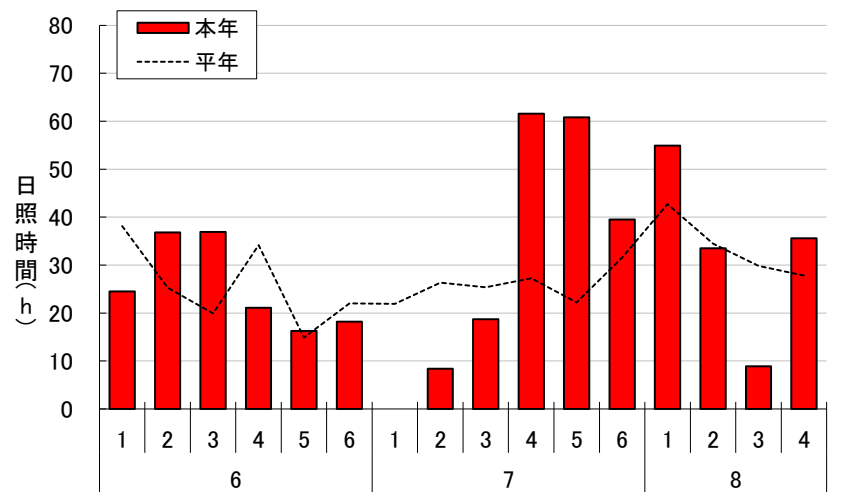


図3 半旬別日照時間の推移

表 1 輪換畑における大豆の生育（龍ヶ崎市、水田利用研究室）

品 種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ		
	本年 (月 日)	前年値 (月 日)	平年値 (月 日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	7. 30	7. 31	8. 01	51	99	86	13. 3	100	95	5. 7	132	133	13. 0	115	103
納豆小粒	8. 05	8. 09	8. 08	54	87	71	14. 7	92	87	7. 7	90	105	11. 0	114	104

品 種	地上部生体重			一株莢数			一株莢重		
	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	273. 2	110	109	92. 2	99	110	33. 6	59	110
納豆小粒	224. 2	110	89	182. 2	123	125	7. 1	73	101

【耕種概要】

- 1) 圃場来歴：転換1年目（前作麦）
- 2) 播種期：6月18日
- 3) 播種密度：11.1株/㎡（畦間60cm、株間15cm）1本立て
- 4) 基肥：N－P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>－K<sub>2</sub>O＝0.3－1.2－1.2kg/a
- 5) 中耕・培土：7月19日、7月26日（それぞれ子葉節、初生葉節まで実施）

【注釈】

- 1) 生育調査は8月25日に実施
- 2) 茎の太さは子葉節と初生葉節の中間で最も太い部分を測定
- 3) 地上部生体重は子葉節で切断した地上部の重さ

【平年値】

平成28年～令和2年播種の5ヵ年の平均値



写真 1 所内大豆の生育状況（8 月 25 日撮影、左から里のほほえみ、納豆小粒）  
8 月 8 日、9 日の台風により株元から倒伏したが、その後、株の途中から起き上がってきた。

気象概況および生育状況における表現について

平年値（過去5年間の平均値）との違いの程度を、「低い（少ない）」、「平年並」、「高い（多い）」等の階級区分で表しています。  
各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めています。  
さらに、「低い（少ない）」、「高い（多い）」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

